

ViewLED Solution 侵入検知パトランプ・モニター通知機能 パトランプ連携設定 操作説明書

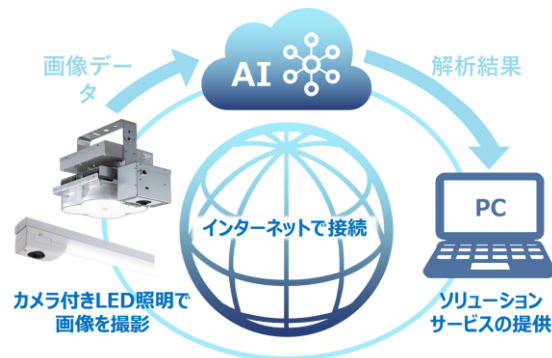
内容

1.	はじめに.....	2
1.1.	ViewLED Solution(ビューレッドソリューション) とは	2
1.2.	ViewLED Solution(ビューレッドソリューション) とパトランプの連携	2
1.3.	商標について	2
2.	パトランプ連携専用ソフトの使い方	3
2.1.	ソフトウェアのインストール手順	3
2.2.	ソフトウェアの使用方法	4
2.2.1.	カメラ情報設定	4
2.2.2.	パトランプ情報設定	6
2.2.3.	パトランプのコマンド設定	8
2.2.4.	パトランプ-エリア対応表.....	8
3.	ViewLED 連携に必要なパトランプ事前設定(パトライト社製 NHB の操作例)	9
4.	サポート・お問い合わせ	11

1. はじめに

1.1. ViewLED Solution(ビューレッドソリューション) とは

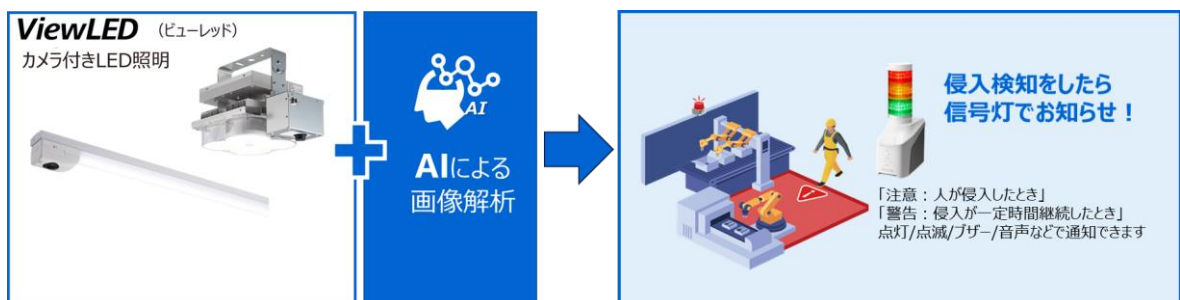
カメラ付き LED 照明 ViewLED (ビューレッド) で撮影した映像をクラウドにある AI で解析を行うことで工場・倉庫などの安全管理や生産現場におけるムダの分析・改善に役立つ解析データを提供できます。また、解析データを映像とともに検証ができることで現場のみえる化をサポートします。



1.2. ViewLED Solution(ビューレッドソリューション) とパトランプの連携

カメラ付き LED 照明 ViewLED (ビューレッド) とクラウド AI 画像解析サービス ViewLED Solution (ビューレッドソリューション) の侵入検知を使い、指定したエリアに人が侵入すると検知しメールなどで通知できます。

こちらの機能にパトランプを追加させることで、現場の当事者にエリアの侵入を通知し、危険行動を気づかせます。



1.3. 商標について

- Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google Chrome は、Google LLC の商標です。
- パトライトは、株式会社パトライトの商標です。
- その他の商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

2. パトランプ連携専用ソフトの使い方

2.1. ソフトウェアのインストール手順

■以下の手順に従ってソフトウェアをインストールしてください。

- (1) 東芝ライテックホームページ ViewLED Solution 専用ソフトウェアダウンロードページよりユーザー登録を行って下さい。登録後、侵入検知マルチビュー(ソフトウェア名:MultiviewingIDS.zip)をダウンロードし、任意のフォルダに保存してください。
(https://www.tlt.co.jp/tlt/cgi-bin/viewled/index_j.htm)
- (2) 保存した zip ファイルを解凍してください。
- (3) 解凍先のフォルダに保存されている「Setup.exe」を起動してください。
- (4) 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」とメッセージが表示されたら、「はい」をクリックしてください。
- (5) セットアップウィザードが起動します。表示される手順に沿ってインストールしてください。
なお、インストールには「ソフトウェア使用許諾契約」への合意が必要です。
- (6) 正常にインストールされるとアプリアイコンがデスクトップに配置されます。また、プログラムファイル一覧に本ソフトウェアのショートカットが生成されます。

■ダウンロード時に警告が表示されたら

ブラウザが Microsoft Edge の場合

「デバイスに問題を起こす場合があります。このまま保持しますか?」
と表示された場合は「保存」をクリックしてください。

ブラウザが Google Chrome の場合

「一般的にダウンロードされているファイルではなく、危害を及ぼす可能性があります。」
と表示された場合はメッセージ右側の「V」タブを開き「継続」をクリックしてください。

2.2. ソフトウェアの使用方法

ソフトウェアの使用方法につきましては「侵入検知マルチビューソフト操作説明書」を参照ください。
「侵入検知マルチビューソフト操作説明書」は2.1の(2)示したZIPファイルの中に含まれております。
また、本サービスご利用にはサービス申し込みが必要です。
なお、以降に書かれている内容は連携に必要な情報のみの記載となります。

2.2.1. カメラ情報設定

本サービスで使用するカメラ設定を行います。

「アクセスキーファイル」から設定する方法と、手動でカメラを追加する方法の2通りの方法について説明します。「アクセスキーファイル」は本サービスを申し込みすると送付されます。



番号	ボタン名	説明
1	アクセスキーファイルの登録カメラから追加	前項で登録済みのアクセスキーファイルからご契約中の本サービスで利用できるカメラ一覧を呼び出すことができます。
2	カメラ追加	アクセスキーファイルを用いず手動でカメラ設定をすることができます。
3	コピーして追加	登録済みカメラ一覧の内容を複製して追加することができます。なお、カメラコードは複製されません。
4	削除	登録済みカメラ一覧の内容からカメラを一台削除します。
5	一つ上へ/一つ下へ	登録済みカメラ一覧のカメラ順序を変更できます。
6	OK/Cancel	設定終了後 OK を選択することで内容をメイン画面に反映します。
7	全て使用/不使用	使用列の内容を一括制御できます。

方法1 ■アクセスキーファイルからカメラを追加する

- (1) [アクセスキーファイルの登録カメラから追加] を選択してください。カメラ一覧画面が立ち上がります。

選択	カメラコード	カメラ名	メールアドレス
<input checked="" type="checkbox"/>	tit-cam0003	工場カメラ3	sample.viewled@tit.co.jp
<input checked="" type="checkbox"/>	tit-cam0006	工場カメラ6	sample.viewled@tit.co.jp
<input checked="" type="checkbox"/>	tit-cam003	3F 作業エリア1	sample.viewled@tit.co.jp
<input checked="" type="checkbox"/>	tit-cam21	工場 北側通路	sample.viewled@tit.co.jp
<input checked="" type="checkbox"/>	tit-005	(ABW2)	sample.viewled@tit.co.jp
<input checked="" type="checkbox"/>	tit-002	売店	sample.viewled@tit.co.jp
<input checked="" type="checkbox"/>	tit-cam22	工場 西側通路	sample.viewled@tit.co.jp
<input checked="" type="checkbox"/>	tit-cam14	工場 入口	sample.viewled@tit.co.jp
<input checked="" type="checkbox"/>	tit-cam20	工場 中央通路	sample.viewled@tit.co.jp
<input checked="" type="checkbox"/>	tit-cam011	工場 4	sample.viewled@tit.co.jp
<input checked="" type="checkbox"/>	tit-cam001	1F 作業エリア1	sample.viewled@tit.co.jp
<input checked="" type="checkbox"/>	tit008	事務所	sample.viewled@tit.co.jp

- (2) 使用するカメラを選び、左端の「選択」チェックボックスをチェック有にしてください。
[全てを選択/解除]を選択するとチェック状態を一括操作することができます。
- (3) [選択したカメラを追加]を選択するとカメラ一覧にカメラ情報が追加されます。

方法2 ■手動でカメラ情報を追加する

- (1) [カメラ追加]を選択してください。

カメラ名	使用	映像表示	カメラコード	IPアドレス	カメラID	パスワード	カメラタイプ
カメラ1	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		0.0.0.0			0

カメラ情報が一台分リストに追加されます。

追加した一行を選択すると背景表示色が切り替わります。各列のデータ（カメラ名、カメラコード、IPアドレス、カメラID、パスワード、カメラタイプ）をキーボードで入力してください。

※カメラタイプは「0」（半角数字でゼロ）と記入してください。

使用にチェックをいれてください。

映像表示のチェックが外れているとメイン画面の映像が非表示になります。

2.2.2. パトランプ情報設定

本サービスで使用するパトランプの設定を行います。

パトランプ対応機種についてはサービス仕様書をご参照ください。

サービス仕様書は 2.1 の(2)の ZIP ファイルの中から確認ください。

パトランプの詳細コマンドについては製品ごとの取扱説明書に従ってご記入ください。

LA6-POE 取扱説明書は[こちら](#)

NHB シリーズ取扱説明書は[こちら](#)

NHV シリーズ取扱説明書は[こちら](#)

(株式会社パトライトのサイトにリンクします。)

パトランプ名	詳細	使用	IPアドレス	通常時コマンド	注意時コマンド	警告時コマンド	警告継続時間	解除時間	停止時コマンド	リンクモード
パトランプ1	詳細	使用	0.0.0.0	api/control?alert=001	api/control?alert=020	api/control?alert=400	20	10	api/control?clear=1	OR

(1) “パトランプ情報設定” を選択してください。パトランプ情報設定画面が起動します。

(2) [追加] を選択してください。パトランプが一台追加されます。

追加した一行を選択すると背景表示色が切り替わります。このままパトランプの名称、各項目（IP アドレス、通常時コマンド、注意時コマンド、警告時コマンド、警告継続時間（秒）、解除時間（秒）、停止時コマンド）を記入してください。

[詳細] を選択するとパトランプの現在設定情報を確認、編集できます。ライン編集とこの画面の内容は同一です。お使いやすい画面で設定してください。記入後[OK]を選択することで変更内容が更新されます。

(3) パトランプ必要台数分記入してください。

パトランプ詳細設定

パトランプ1

IPアドレス: 0.0.0.0

OK

1 (1)通常 (何も検知していない)

コマンド: 手動送信

送信タイミング: ソフトウェア起動時、または、(4)の送信タイミング

2 (2)注意: 侵入を検知

コマンド: 手動送信

送信タイミング: 侵入検知エリアへの人の侵入を検知した場合

3 (3)警告: 長時間の侵入を検知

コマンド: 手動送信

送信タイミング: 警告移行時間(0~1200秒): (2)の検知が 秒以上継続した場合

4 (4)解除: 侵入エリアから退出

コマンド: (1)で設定したコマンド

送信タイミング: 解除時間(10~300秒): (2)または(3)を最後に送信してから、 秒後に(1)に戻る

5 (5)停止: パトランプ稼働停止

コマンド: 手動送信

送信タイミング: このパトランプが稼働していない場合 (侵入エリアが紐づけされていない場合など)

6 その他の設定

リンクモード:

【OR】このパトランプが設定されている侵入エリアのうちの一つでも検知されれば発報します。
【AND】このパトランプが設定されている侵入エリアのすべてで検知されれば発報します。
(トップ画面のメニュー「エリア・パトランプ対応表」から侵入エリアを設定できます)

番号	制御ステータス	意味
1	通常	起動後の指示待ち状態です。
2	注意	侵入を検知したときの状態です。
3	警告	長時間連続して侵入を検知しているときの状態です。(2)の状態が設定時間以上継続したときに移行します。
4	解除	検知終了の状態です。(2)または(3)のあと、新たに侵入が検知されない状態が設定値以上継続した場合に移行します。
5	停止	パトランプを停止させているときの状態です。
6	その他設定	1つのパトランプに複数のエリアを設定しているときの動作モードを変更できます。ORかANDを選択してください。 OR: 複数エリアのうちどこか1か所で検知しているときに注意・警告状態になる AND: すべてのエリアで検知しているときに注意・警告状態になる
7	手動送信ボタン	各コマンドの動作確認テストができます。
8	OK	変更した内容を確定し画面を閉じます。

2.2.3. パトランプのコマンド設定

■コマンド（通常時、注意時、警告時、停止時）

- HTTP 通信のコマンドです。
- 対応するコマンドはパトランプの機種によって異なります。詳しくは使用するパトランプの取扱説明書をご確認ください。
- パトライト社 NHB シリーズの場合の例を示します。

【構文】 api/<コマンド種類>?<パラメータ>=<値>[&<パラメータ>=<値>][&<パラメータ>=<値>]

【例 1】 api/control?alert=001000 （緑色点灯）

【例 2】 api/control?alert=020000 （黄色点滅）

【例 3】 api/control?clear=1 （全消灯）

2.2.4. パトランプ-エリア対応表

侵入検知エリアとパトランプの対応付けを行う画面です。

カメラの名称と、そのカメラに設定されているエリアの名称一覧が表示されます。各エリアにパトランプを対応付けしてください。1 エリアにつき 3 台までのパトランプを設定することができます。

パトランプに対応づけたくない場合は不使用を選択して [OK] で情報を更新してください。

（本ソフトウェアでは、エリアの形状や名称等の情報を設定・変更できません。ViewLED Solution の閲覧ブラウザソフト「Ciao Camera」から設定・変更してください）

説明▼

「侵入エリア」に侵入が検知された際に動作させるパトランプを設定します。
各エリア3台までのパトランプを設定することができます。
パトランプのIPアドレス等の設定は、メイン画面のメニュー「パトランプ情報設定」で設定してください。
また、各カメラの侵入エリアの設定は、本ソフトウェアではなく、ViewLEDソリューションサイトで行うことができます。

カメラ名	エリア名	パトランプ名(1台目)	パトランプ名(2台目)	パトランプ名(3台目)
Camera16		不使用	不使用	不使用
Camera16		不使用	不使用	不使用
Camera16		不使用	不使用	不使用
Camera16		不使用	不使用	不使用
Camera16		不使用	不使用	不使用

全て不使用

OK

Cancel

3. ViewLED 連携に必要なパトランプ事前設定(パトライト社製 NHB の操作例)

Web ブラウザを立ち上げて、URL にパトランプの IP アドレスを入力します。

入力値は「192.168.10.1」です。入力後、ユーザー登録設定を実施してください。



次に「本体設定」内の「機能の有効化」を選択します。

本体情報	
機種	NHB
動作電源	24V DC
本機時刻	1970/4/10 4:11:00 時刻を設定する

クリアボタン	● 有効	SNMPコマンド受信機能	○ 無効
テストボタン	● 有効	TRAP受信機能	○ 無効
音量 +/- ボタン	● 有効	SNMP対応機器監視機能	○ 無効
		SNMP通知機能	○ 無効
		SSHコマンド受信機能	○ 無効
		RSHコマンド受信機能	○ 無効
		HTTPコマンド受信機能	○ 無効
		ソケット通信機能	○ 無効
		Azure接続	○ 未接続
		AWS接続	○ 未接続
		LTE通信機能	○ 無効

「本体機能設定」内の「HTTP コマンド制御」を「有効」にします。これで設定完了です。

※パトランプの IP 設定は該当機種の取扱説明書を参照ください。

The screenshot shows the '本体設定 > 機能の有効化' (Device Settings > Enable Functions) screen. On the left is a navigation menu with categories like '機能の有効化', 'ネットワーク設定', '時刻設定', '基本設定', 'コマンド受信設定', '監視設定', '通知設定', 'クラウド設定', '本体操作設定', and '管理'. The main area is titled '本体機能設定' (Device Function Settings) and contains several toggle switches. The 'HTTPコマンド制御' (HTTP Command Control) option is highlighted with an orange box and is currently set to '有効' (Enabled). Other options include SSH/RSSH command reception, socket communication, change information transmission, LTE communication, and body control settings (clear, test, volume buttons). A 'SNMP設定' (SNMP Settings) section at the bottom shows the 'SNMPコマンド受信' (SNMP Command Reception) option set to '無効' (Disabled). 'キャンセル' (Cancel) and '設定' (Apply) buttons are visible at the top right.

機能名	状態
SSHコマンド受信機能	無効
RSSHコマンド受信機能	無効
HTTPコマンド制御	有効
ソケット通信設定	無効
変化情報送信	無効
LTE通信機能	無効
クリアボタン	有効
テストボタン	有効
音量 +/- ボタン	有効
SNMPコマンド受信	無効

4. サポート・お問い合わせ

当社は、本ソフトウェアの利用期間中、利用者が設定した運用窓口からの本ソフトウェアに関する仕様または操作方法に関する質問、本ソフトウェアが正常に動作しない場合における原因調査、回避措置に関する質問または相談は下記窓口にて受け付けています。

東芝ライテック商品ご相談センター

■お電話でのお問い合わせ

固定電話から

0120-66-1048 (通話料:無料)

携帯電話から

046-862-2772 (通話料:有料)

FAX

0570-000-661 (通信料:有料)

■Eメールでのお問い合わせ

TLT-ViewLED-team@ml.toshiba.co.jp

■東芝ライテックホームページ

<https://www.tlt.co.jp>

■個人情報のお取り扱いについて

お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝ライテック株式会社

次世代ソリューション事業本部

〒237-8510 神奈川県横須賀市船越町1-201-1

お問合せ先E-mail: TLT-ViewLED-team@ml.toshiba.co.jp

無断複製および転載を禁ず

日本国内専用

Use only in Japan